

OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

W E E K L Y R E P O R T

設 立 昭和 63 年 (1988) 5 月 23 日
事務所 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋 1-5-12 心斎橋アーバンライフ907
TEL. (06) 6244 -1008 FAX. (06) 6244 -1010
WEB. <http://sembarotary.club> E-mail : semba@cocoa.ocn.ne.jp
例 会 毎週月曜日・12 時 30 分・ホテル日航大阪 Tel. (06) 6244 -1111
会長 岡野 秀章 幹事 大島 弥生 会報広報委員長 廣 勇貴

大阪船場 ロータリークラブ

四つのテスト／言行はこれに照してから I. 真実かどうか II. みんなに公平か III. 好意と友情を深めるか IV. みんなの為になるかどうか

第1628回 例会 2026年（令和8年）9月14日

（基本的教育と識字率向上月間／ロータリーの友月間）

本日のプログラム

（本日のプログレス 中井 崇 SAA）

- ロ-タリ-ソング「船場ソング」
- 会長の時間 ○ 幹事報告 ○ 委員会報告 ○ ニコニコ箱報告 ○ 出席報告
- 卓 話 国際ロータリー 第2660地区 ガバナー 横田 孝久 様
- 事前懇談会 4階「藤の間」 11:20～12:20

前回（9月7日）例会記録

1. 来客紹介 森田 真 親睦委員

ゲスト: 0名 地区外: 0名 地区内: 2名 合計 2名

・秋桜
・秋の気配
・タイムゴーズバイ

2. 9月お誕生月会員お祝い

澤田 宗久 会員 （9月 1日）

中井 崇 会員 （9月17日）

武部 潤子 会員 （9月21日）



3. 会長の時間 「12月までの予定」 岡野 秀章 会長

9月5日(土)・6日(日)のリレーフォーライフ芦屋、延べ18人がタスキをつなぎ、トータル109キロ走り切りました。
チャリティーも距離に応じ10,900円することができました。ご参加の皆様、お疲れ様でした。

本日は若干事務連絡的になりますが、年内の主な予定の確認をさせて頂きたいと思います。地区のホームページにも会長の時間で話す内容として、直近や今後のクラブ活動の共有と呼びかけ、地区や国際ロータリーからの情報のかみ砕いた説明、とありますので、それに則りお話しいたします。入会年次の浅い会員の方は特にご確認お願い頂けますと幸いです。

まず12月11日(金)12日(土)の地区大会が大きなイベントの一つです。

持続可能なインパクトを生み出そう

CREATE LASTING IMPACT

11(金)には前年度のクラブ優勝賞の表彰式があり、藤井前年度会長が IM5 組代表で登壇の上でコメントを言われます。また晚餐会では地区の代表 10 名程度の精鋭として、小島さんと大島幹事が登壇の上で演奏されます。翌日のクラブ紹介は各クラブ紹介が例年より丁寧にしっかりと行われるらしく、各クラブ会長は登壇までするようです。皆様この両日は、部分的でもいいのでなんとかご出席をお願い致します。特に 12(土)の午後から行われる予定の本会議にはぜひご出席を宜しくをお願い致します。なお登録料は出欠に関わらず個人預かり金から拠出されますので、行かないと損するということです。

なお金曜日夜の晚餐会は別途会費が必要となります。

さてその前の週の 1(火)から4日(金)まではロータリー研究会がリーガロイヤルホテルで開催されます。これは日本全国のロータリアンが集結するイベントで、オラインカハキームババラ国際ロータリー会長も来場されます。ナマインカ会長をぜひ一目見てみたいと言う方は積極的にご参加下さい。登録料はこちらは個別に必要で金額も 33 千円と高めですのでご注意ください。

翌週の地区大会とどちらに出席するか迷ったら、ぜひ翌週の地区大会を優先して下さい。

全会員が関係するイベントはそのあとは地区大会の2日後、12 月 14 日(月)夜の、大阪船場ロータリークラブの年次総会とクリスマス家族懇親会です。年次総会のメインはなんといっても次年度各委員長の発表です。すでに山川次年度会長が人選を始めているかと思いますが、今後山川さんからお声かけがある方は、ハイカイエスカ喜んで、のいずれかでぜひ積極的にお受け頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

なお当日発表される次年度副会長、つまり3 年度先の会長候補は、来月 10 月 26 日に開催される指名委員会を経て実質的に内定となります。どなたになるのか、皆様乞うご期待くださいませ。

この他の予定では近い方から行きますと、来週 14 日は横田ガバナー公式訪問、これは年に 1 回のイベントです。28 日は体験例会、今のところ 2 名出席予定です。10 月 10 日から 5 日間、フィリピンカオハガン島訪問、そこから無事帰国できれば翌週 22 日(木)は心斎橋ロータリークラブさんとのエンドポリオチャリティの合同ゴルフコンペ、11 月 16 日(月)は大橋パストガバナーをお迎えしての規定情報研修会、12 月 10 日(木)は開平小学校児童の皆さんの、我々会員の会社訪問があり、この 1 週間は地区大会、クラブ年次総会クリスマス会と連チャンになります。また各委員長は地区主催のセミナー等も主に週末にあります。皆様今一度クラブの年間スケジュールと個別にメールできた案内をご確認下さいませ。

4. ニコニコ報告 親睦委員会 武部 潤子 委員

地区インターアクト委員会 奥村雅一様・小川健一郎様……本日例会よろしくお願いします。前回卓話のお時間を設けて頂きありがとうございました。

岡本(真) 会員……本日は地区インターアクト委員長の奥村さん、副委員長の小川さん、ようこそお越しいただきました！

三重 会員……リレーフォーライフに参加させて頂き有難う御座いました！ガン患者のチャリティー等、色々勉強になりました。船場のたすきでつないだ109km、皆さんご苦勞様でした！

竹内 会員……リレーフォーライフご参加の皆様おつかれさまでした。見事109km完走。最高ですっ!!

森田 会員……土曜日、日曜日のリレーフォーライフありがとうございました。私は走るのがあまりできなかったので歩く方で参加させて頂きましたが、少し走っただけで筋肉痛がひどいです～

原山 会員……リレーフォーライフおつかれ様でした。すてきな思い出になりました。

岩崎 会員……土曜日はありがとうございました。

松村 会員……リレーフォーライフ参加した方々、おつかれさまでした。ゴルフ終りに参加して、体バキバキです。ありがとうございました。

藤井 会員……ロータリー甲子園大会に出場しました。結果は残念でしたが、楽しくプレー出来ました。

中井 会員……肉離れをされた方が2名おられたとお聞きました。お一人1,000円ずつ、お見舞いたします。

新川、武部、清水、篠藤、前川、大島、井上、岡野、廣、中西、片岡、林拓、野田、小島、中村、岡本茂、五味、林(英)、洪、
天野、平山、山川、大嶋、盆子原、小中、高木、瀬島、

各会員……リレーフォーライフ お疲れ様でした!!

澤田、中井、武部、各会員……9月誕生月

俣野、岡本茂、高木、各会員……9月創立記念日

岡本茂、天野、両会員……9月結婚記念日

5. 出席報告 岩崎 寿英 副SAA

会員総数 48名 出席率計算会員数 47名 出席会員数 43名(オンライン③名) 出席率 91%

第1624回(8月17日) 修正出席率 100%

6. 職業奉仕卓話

◎「弁護士は、なぜ悪い人の味方をするのか」 小山 章松 会員



弁護士の主な仕事は裁判所でのしごとです。

大きく分けて、民事裁判の原告、被告の訴訟代理人になることと、刑事事件で被告人の弁護人になることの二つです。民事裁判の原告は訴えを申し立てた人のことです。被告はその相手方のことです。今日は刑事事件についてお話をします。

弁護士は、よく一般の人から殺人を犯した人の味方ができますねとか、悪い人の弁護をして良心の呵責に耐えられますね、などの質問をうけます。

今日はこの質問に答えたいと思います。

弁護士の制度ができたのは、明治時代になってからですが、戦前(第二次大戦前)は弁護士の地位は低かったです。検察庁の監督下におかれ、検事よりも一段低い地位との社会的評価を受けていました。裁判所も司法省に所属しており、今のようないくつかの権限分立ではありませんでした。

大学の法学部も法曹を育てる教育をする機関ではなく、国地方公共団体の役人企業の会社員を教育するための学部でした。戦後、USA(GHQ)は日本が戦争を始めたのは、一つには、日本の司法とりわけ弁護士の地位が低いことに原因があるとのことで、弁護士自治を認め、弁護士養成として、裁判官、検察官養成と一緒に養成することとし、一つの司法研修所を作り、2年間の教育をし、卒業時にそれぞれの職業を選択できることにしました。2年間は、国家公務員の上級試験合格者の初任給より少し多い給料が支給されました。

刑事では、刑罰権を実現するためには、必ず一定の手続によることが要求されます(手続きがなければ刑罰なし)。憲法31条は「何人も、法律の定める手続によらなければ、その生命もしくは自由を奪われその他の刑罰を科せられない」と規定しています。

法の適正手続きといいます。due process of law

被告人は、適正な手続を経たうえでないと刑罰を科せられない権利を憲法上保障されています。これを監視するのが弁護士の役割です。権力を握っている側はできるだけ労力を使わずに被告人を有罪にしたり、違法な証拠も裁判所に提出することがあります。それを監視するのが弁護士の役割です。憲法31条から40条までは、刑事における国民の権利を規定している条文です。弁護士を選任する権利も規定されています。少し前までは、国選弁護人は、起訴されてからしか選任されませんでした。が、今は勾留の時から選任されるようになりました。



私は現在、ウズベキスタンで美容・健康・教育に関する事業に取り組んでいます。その中で強く感じたのが、「電気が安定して使えることは、決して当たり前ではない」ということです。突然の停電が起これば、照明だけでなく、空調、給湯、通信、決済、店舗設備まで止まります。美容サロンでは機械を使った施術ができず、教育や医療、地域の産業にも大きな影響を与えます。この経験から、電力の安定供給は単なる便利さではなく、人々の暮らしや雇用を守るための大切な社会基盤であると実感しました。ウズベキスタンには、豊富な日照と広大な土地があり、太陽光発電に大きな可能性があります。しかし、太陽光は昼間や晴天時には多く発電できても、夜間や曇天時には発電量が減少します。電気は「つくる量」と「使う量」を常に合わせる必要があり、発電設備を増やすだけでは安定供給は完成しません。そこで重要になるのが、余った電気を蓄え、必要な時間に届ける蓄電池です。蓄電池は、分かりやすくいえば「電気の倉庫」であり、再生可能エネルギーの変動を整え、電力網を支える社会インフラです。これは海外だけの課題ではありません。日本でも、脱炭素に向けて太陽光や風力の導入が進む一方、天候による発電量の変動や、電気が余る時間と不足する時間のずれが課題になっています。蓄電池は、不足と余りを調整し、再生可能エネルギーを無駄なく活用するための重要な役割を担います。今回の卓話では、私が現在学んでいる、約8坪ほどのスペースから検討できる分散型低圧蓄電池についてもご紹介します。建物横、駐車場の一部、活用方法が決まっていない遊休地などが、将来、地域の小さな電力インフラになる可能性があります。ただし、設置には搬入経路、消防・騒音対策、保守スペース、電力系統への接続状況など、個別の確認が欠かせません。また、通常の系統用蓄電池は、そのまま停電時の非常用電源になるものではなく、非常時に使うためには専用の設計や機能が必要です。こうした点も含め、誤解のないよう分かりやすくお伝えします。私は、まず日本で設置・運用・安全管理・地域との共存を学び、小さな実績を積みみたいと考えています。そして将来、その知見を電力に困るウズベキスタンへつなげたいと思っています。電気を貯めることは、再生可能エネルギーを生かし、地域の安心と未来への備えを支えることです。本卓話が、身近な土地やエネルギーの使い方を改めて考えるきっかけになれば幸いです。

2026-2027 年度小グループD 第1回会合報告

中井 崇

日 時：2026年9月7日（月）18時～

場 所：とらぶぐ屋

参加者：中嶋リーダー、原山会員、山川会員、洪会員、中西会員（店長）、竹内会員、中井会員



1 最初の30分は、後ろから聞こえてくる E・F グループの激論に圧されながら、ロータリーの今後について議論いたしました。

主な意見は以下のとおり。

奉仕について

・「あるべき姿」を抽象的に議論するのも良いが、一方で「何ができるか」という現実的観点から具体的に取組もうとすることも

大事である。

・単に資金を出すだけでなく、参加することによって意義を実感できる活動が望ましい。その意味で、直近のリーフオーライフは若手を中心に延べ18人が参加したが、満足度は高かったと思う。

- ・YMCA や開平小学校は毎年行っているが、継続することを前提とするのではなく、まずはやってみて、良ければ継続するというようなスタンスで新しいことに取り組んでも良いのではないか。
- ・新しい活動を増やし、参加可能な機会を複数設けることで、日程があわない会員にも参加の選択肢が広がる。

親睦活動について

- ・親睦活動は難しく考え過ぎず、まずは会員が楽しめることを基盤にすれば良いのではないか。
- ・誰かを傷つけたり、他人を貶めたりするのでなければ、ある程度自由度があって良い。
- ・過去には合宿のようなものもあったが、自由参加を前提に泊まりがけの企画があってもよい。

クラブ運営について

- ・これまでどおり、老若男女、会歴を問わず自由な意見を言い合える風通しを確保すれば、自ずと良いバランスになるのではないか。
- ・会員数の増加に対して役職が不足してくる可能性がある。全員が何らかの役割を担うことが大切。

2 議論終了後は、美味しいフグ・鰻料理に舌鼓をうちながら、楽しい時間を過ごしました。

同じ空間に E・F グループがおられ、「小グループ」と言えるのかという疑問もありましたが、何れともあれ充実した時間でした。

小グループ A 会合報告

日時：2026.8.27(木)

会場：「esquire club」

参加者：森田会員 倉咲会員 三重会員 常谷会員 岡野会長 大島幹事

森田 真

無理なく楽しく！私たちの「息の長い」奉仕活動を考える

8/27 小グループ A では岡野会長と大島幹事にも参加して頂き、「単発で終わらせず、長く続けられる奉仕活動ってなんだろう？」をテーマに、ざっくばらんな本音トークで大いに盛り上がりしました。

会員それぞれの仕事の強みや日常を活かしながら、「重すぎず、軽すぎず」の絶妙なバランスで地域と関わるためのアイデアが満載でした。

地域の子も・パパママを笑顔に

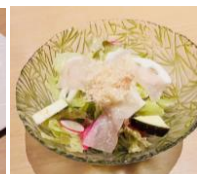
猛暑の部活への差し入れや職場体験の受け入れなど、身近な応援を継続していきます。また、「お母さんが元気なら家庭も地域も明るくなる！」という視点から、息抜きを兼ねたカルチャー講座や、新米パパママ向けの気軽な学びの場づくりも企画案に浮上しました。

「知る・触れ合う」から始める多様性として、白杖のサインや簡単な手話、読み書きの難しさ（学習障害）など、「まずは正しく知ること」が最大の支援ではないかとの意見も出ました。

学校の道徳の授業に当事者講師をお招きする仕組みや、障害者就労支援事業所と連携した実習受け入れなど、次世代へ向けた啓発にも取り組めたらと考えました。

大人のプロの知恵を地域へ（法律・遺贈サポート）として、身寄りのない高齢者の遺産を希望に沿った福祉先へつなぐ仕組みや、法律系プロボノの負担軽減など、ロータリーのネットワークと専門性があるからこそ踏み込める課題にも注目が集まりました。

立派な大風呂敷を広げるのではなく、自分たちの本業や関心とゆるやかにつなげることが長続きの秘訣ではないかとの意見から、まずは気軽に意見を出し合える小グループなどの場から、一歩ずつ形にしていきたいと思います。



小グループ活動 B グループ 第 1 回レポート

日時：2026 年 9 月 7 日

会場：Jampa

参会者：林(英)/廣/小中/井上/瀬島/前川 [順不同・敬称略]

記載者：前川 一成



会場はアメ村 BIGSTEP の向いにある創作和食屋さんの Jampa で行いました。20 年以上ぶりに BIGSTEP を見ましたが、余韻にひたる間もなく店探しに奔走。。。google マップでは、ココなのに店への入口がない！！こんな時、脳にチップが入っていればスグに入口が解るのに！

さて、今回の B グループでは、ロータリークラブの活動や親睦、奉仕について、それぞれの立場から率直な意見を交わしました。

ロータリーには長い歴史と伝統があり、奨学金や国際交流、ポリオ撲滅活動など、長年にわたって継続されてきた取り組みには大きな意義があります。一方で、時代や会員構成が変化する中で、これからのロータリーがどのような活動を行い、どのような価値を生み出していくのかを考えることも重要だという意見が出ました。

また、会員それぞれがロータリーに求めるものや参加する距離感はさまざまであり、奉仕活動を通じて交流を深めたい人もいれば、人とのつながりや新しい

価値観との出会いを大切にしたい人もいます。そうした違いを認め合いながら、それぞれが無理なく、自分なりの形で関わっていくことの大切さについても話し合いました。

特に印象的だったのは、ロータリーには世代や職業、考え方の異なる多様な人が集まっているからこそ、新しい視点が生まれるということ。長い歴史を大切にしながらも、新しい世代の感性や価値観を取り入れ、より時代に合った活動へと進化していくことが、これからのロータリーには必要なのではないかという意見です。

「決められた枠に人を合わせるのではなく、さまざまな人が自分らしく参加できる場をつくっていく」「自分の考えだけに固執せず、信頼する人の誘いや新しい環境に身を置くことで、自分自身の枠を広げていく」など、ロータリーを通じた自身の成長についても語られました。奉仕、親睦、世代継承、そして多様性。

それぞれの考え方には違いがありながらも、「より良い会にしていきたい」という思いは共通しています。

今回の率直な意見交換を通じて、改めてお互いの考えや価値観を知ることができました。これからはさまざまな世代・職業の会員がそれぞれの持ち味を活かしながら、船場ロータリークラブの新しい形を一緒につくっていければ、と思いました。

9月理事会報告

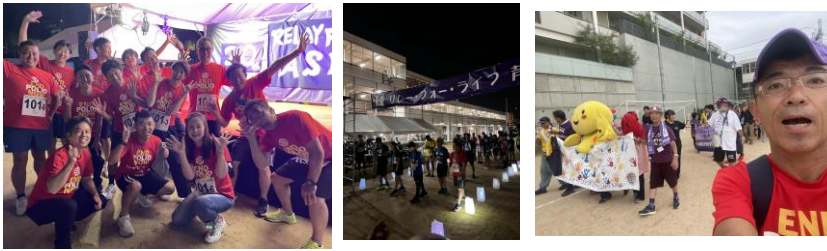
令和8年9月7日(月) 於:ホテル日航大阪 13:40~14:40

【承認事項】

- 1、8 月度会計報告 → 承認
- 2、9/27 米山奨学生レクリエーション参加費について → 承認
- 3、事務局火災保険継続 → 承認
- 4、関西万博関連事業余剰金の活用について → 承認

大阪船場の七転び八起き

—109km のたすきに込めた想い—



親睦委員 三重 慶三

9月5日、6日の二日間、「第20回リレー・フォー・ライフ・ジャパン芦屋」に、大阪船場ロータリークラブから16名で参加させていただきました。私たちは全員、「END POLIO NOW」の赤いTシャツを着用しました。ポリオ根絶への願いを胸に、がんとうき合う皆さま、そしてそのご家族やケアギバーの皆さまと、ともに歩きたいという思いで参加いたしました。16時の開会式に続き、がんサバイバーとケアギバーの皆さまによる1周200mの「サバイバースウォーク」から大会が始まりました。19時にはキャンドルセレモニーが行われ、一つひとつの灯りに、それぞれの願いや希望が込められているように感じました。20時30分、いよいよ12時間にわたるキャンドルランがスタートしました。第一走者はベテランの中村会員。箱根駅伝の区間賞を思わせる快走で、ミスター親睦・原山会員へたすきをつなぎました。瀬島会員はピスポークよろしくオーダーメイドの力走、井上会員は爽やかなオーラを漂わせながら疾走しました。膝のけがを押して走る小中会員、0.1トンの巨体を揺らして猛進する松村会員、アリシャッフルばりのステップを披露する廣会員。この日のために温存していたランニングシューズをお披露目した岩崎会員、長い手足を生かして進撃する高木会員。そして、たすきは幹事の弥生会員へ渡りました。腰の回復ぶりを見せてくれた矢先、まさかの転倒。その瞬間、周囲は息をのみ、張り詰めた空気に包まれました。幸い大きなけがはなく、無事と分かったときには、皆が胸をなで下ろしました。そして弥生会員は、何事もなかったかのように立ち上がり、再びたすきをつないでくれました。転んでも、また立ち上がる。その姿は、まさに大阪船場の「七転び八起き」の真骨頂でした。ヨガで鍛えた武部会員が跳ぶように走り、森田会員は非常に姿勢の良いウォークで安心感を与えてくれました。ダブルエースの一人、竹内会員は、謎のしごりの痛みをこらえながらも、確実に周回を重ねました。そして、もう一人のエース・中嶋会員は、早朝に駆けつけてくださった奥さまと娘さんの声援を力に、力強くコースを駆け抜けました。そして岡野会長は、誰もが疲れ切った夜明け前の時間帯にも、自らたすきを受け取り、誰よりも長く、誰よりも多く走ってくれました。言葉で鼓舞するのではなく、苦しい時こそ自ら走る。その背中が、大阪船場チームの心をついにし、次の一周へと向かわせてくれました。また、テントを設営する人、冷たいデザートを用意する人、おにぎりやパンを差し入れる人、早朝の朦朧とした頭に染み渡るアイスコーヒーを届けてくださる人。走る人だけでなく、支える一人ひとりの力があってこそその12時間でした。翌朝8時30分過ぎ。12時間11分11秒に及んだリレーは、545周、109kmという記録で幕を閉じました。しかし、私たちがつないだのは、109kmという距離だけではありません。

一周ごとに声援を送ってくださった大会関係者の皆さま。病と向き合いながら歩かれるサバイバーの皆さま。その隣に寄り添われるご家族、ケアギバーの皆さま。皆さまの姿から、私たちは「走れること」のありがたさ、そして人は一人ではなく、誰かに支えられ、誰かを支えながら生きているということを、あらためて教えていただきました。転んでも、また立ち上がる。

苦しくなれば、誰かにたすきを託す。託された人は、また次の誰かへつないでいく。そのたすきの先には、いつも「希望」という二文字がありました。第20回という節目の大会に参加させていただき、私たちがいただいたものは、109kmという記録以上に大きなものでした。**走ることが、誰かの力になる。 つながることが、誰かの希望になる。**素晴らしい機会を与えてくださった大会関係者の皆さま、参加されたすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。



国際ロータリー 第2660地区 ガバナー プロフィール

横田 孝久 (よこた たかひさ)



生年月日 1962 (昭和37) 年 8月 12日

職業分類 パワーツール機械製造

職 業 ヨコタ工業株式会社 代表取締役社長

経 歴 1986年 3月 早稲田大学 第一文学部 卒業
1986年 4月 原田産業株式会社 入社
1989年 6月 ヨコタ工業株式会社
1996年10月 同社 専務取締役就任
2006年10月 同社 代表取締役就任 現在に至る

ロータリー歴 2011-12年度 地区ローターアクト委員会 副委員長
2013-14年度 幹事
2017-18年度 地区青少年交換委員会 委員長
2018-19年度 地区学友委員会 委員長
2019-20年度 地区青少年保護のための危機管理委員会 委員
2020-21年度 会長
2021-22年度 地区危機管理委員会 委員
2023-24年度 IM第4組 ガバナー補佐

そ の 他 ロータリー財団 メジャードナー
ロータリー財団 ベネファクター
ロータリー米山記念奨学会 米山功労者 (マルチプル)

賞 罰 なし

… ガバナー月信7月号より …

☆次回9月28日(月)例会予定

- ・一斉体験例会
- ・第3回40周年実行委員会 4階「藤の間」 13:40～14:40
- ・会員懇談会 4階「梅の間」 13:40～14:40
- ・米山奨学委員会 7階「フォンタナ」後方席 11:45～
- ・クリスマス会打ち合わせ 7階「フォンタナ」後方席 11:30～